



「そ~だったのか、地域連携教育」

岩国市教育委員会は、小中学校教職員対象の夏季研修講座を18コマ開催しました。その中で、採用2・3年目の教職員27名を対象に「そ~だったのか、地域連携教育」と題して、地域連携教育の魅力や進め方を中心に研修を実施しました。

本号では、研修講座の内容や受講生の思いや考えを中心に紹介します。

【7/28(金)13:30~16:30の実施】

① 研修前の受講生の地域連携教育に対する思い

- ・ 子供が「この場所で生まれてきてよかった」と思えるような活動がしたい。
- ・ 子供と地域がともに成長・発展できる活動がしたい。
- ・ 地域との連絡調整が難しい。 ・ 地域連携教育が必要となった背景を知りたい。
- ・ 教師が地域の方とお話しする場が少ない。 ・ 保護者の方に理解・協力いただくことが必要。

② 講義・演習1「持続可能な地域連携教育の進め方」

教育課程(教科、道徳、総合学習、特別活動等)の中にある活動で、地域の方と学ぶことにより、より効果の上がる活動を選択したいですね。

<指導者>

どれも意味ある活動ですが、多すぎると実施が難しくなり…。<受講生>

地域学校協働活動の仲間分けは、難しいけど楽しいね。いろいろな学校でいろいろな活動をしているんだな…。

<受講生>

活動を選ぶ時のポイントは、子供にとって必要な資質・能力が育まれるかどうかです。しかも、「あなたの学校の子供にとって」が重要ですね。<指導者>

二人組で、言葉がけのトレーニング。相手の思いや考えは深まったかな…言動を価値づけできたかな。<受講生>

③ 講義・演習2「活動における振り返り」

体験により獲得した「気づき」等を言語化し、仲間と共有することで「学び」へと進化します。『なぜ?』『誰が?』『どんなことが?』など言葉がけを工夫して、子供の学びを深めてみましょう。<指導者>

④ 情報交換・協議

①異質な人との出会いで、新しい自分に出会えること。②発見・感動・心地よさが味わえること。③人とつながり、認められることで自己存在感・自己肯定感が高まること…

地域連携教育の魅力を、たくさんの子供たちや地域の方々に味わってもらいたいものです。

- ・ 事前感じていた疑問点が解消したり、他校の取組について知れたり、具体的に何に取り組めば良いか理解できた。
- ・ 各校の良い取組について質問できて、細かいところまで分かった。良い点、課題点ともに地域の良さとして活かしたい。
- ・ 学校の思いと地域の願いが一致していないと、お互いうまく連携できないと感じた。

